

円滑な被災者支援のあり方を学ぶ研修会

—いざという時に機能する**情報共有のススメ方**とは—

近年、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。有事の際に円滑かつ効果的な被災者支援に向けて、本研修会では、北の国災害サポートチーム 篠原氏を講師にお迎えし、**“災害時の情報共有会議”の必要性**や、実際に情報共有会議を開催する際は**何を話題とし、どのように共有すべきかなど**等、単に座学で学ぶだけでなく、演習を通して体験しながら学びます。

【災害時の情報共有会議】

異なる機関や団体が一堂に会し、刻々と変化する被災地・被災者の状況、支援活動の進捗状況、被災地の課題等に対し、各団体が持つ情報やリソースを活用（マッチング）・共有する場です。国が定める防災基本計画*1の中でも位置づけられています。会議の運営や情報の伝達・整理においては、円滑なコミュニケーションや正確な情報共有が求められる為、平時から定期的な模擬訓練を重ねていくことが大切です。

*1防災基本計画は、災害対策基本法第34条第1項の規定に基づき、中央防災会議が作成する、政府の防災対策に関する基本的な計画のこと

開催概要

日時	2023年12月4日（月）10:00—12:30（開場9:45）
場所	いわて県民情報交流センター（アイーナ）8階 804
参加費	無料 / 定員50名
対象	県・市町村行政職員、社会福祉協議会職員、NPO、災害対策や災害支援に興味や関心をお持ちの団体等
申込方法	FAX又は申込フォームからお申込みをお願いします



Google申込みフォーム

【申込期限】
11月30日（木）まで

プログラム

10:00～	趣旨説明
10:05～	[講義] 情報共有会議の有効性について 北の国災害サポートチーム 代表 篠原辰二氏 (一般社団法人Wellbe Design 理事長)
10:45～	[演習] 情報共有会議を体験してみよう
12:10～	振り返り
12:30～	閉会



北の国災害サポートチーム 代表 篠原辰二氏
2012年、一般社団法人Wellbe Designを設立し、社協や包括、民児協等の地域福祉推進機関に対する支援や対人援助職の育成支援等を行っている。災害時には被災者見守り・相談支援事業や災害ボランティアセンターの仕組み構築にあたっている。2019年、北海道の災害中間支援組織「北の国災害サポートチーム」を組成し代表に就任。

お問合せ

いわてNPO災害支援ネットワーク（NPO法人いわて連携復興センター） 担当：瀬川
携帯:080-5736-0433 / FAX:0197-72-6201 / MAIL:segawa@ifc.jp

共催 いわてNPO災害支援ネットワーク、NPO法人いわて連携復興センター
後援 岩手県（予定）、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会（予定）

*この研修は、内閣府「令和5年度官民連携による被災者支援体制構築事業・モデル事業」の一環として実施しています。

12月4日開催 円滑な被災者支援のあり方を学ぶ研修会 参加申込み書

申込期限 2023年11月30日（木）まで

団体名 (部署)			
TEL		E-Mail	
No.	氏名	これまでに、災害発生～2か月以内の災害対応に従事したことがありますか？	今回の研修にお申込みされた参加動機を教えてください
1		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
2		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
3		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	

お問合せ
お申込み

いわてNPO災害支援ネットワーク（NPO法人いわて連携復興センター）担当：瀬川
携帯: 080-5736-0433 / FAX:0197-72-6201 / MAIL: segawa@ifc.jp

いわてNPO
災害支援
ネットワーク